

報道関係者 各位

令和4年10月6日
四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

四国大学 徳島光・アート教育人材育成事業 「光アート事業成果報告会」の開催について

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学では、「徳島光・アート教育人材育成事業」を実施しており、徳島県のLEDを使った光アートビジネスの可能性を考える講座や光アートの要素技術を実践的に身につけてもらうための講座を実施しています。

この度、「徳島光・アート教育人材育成事業」を広く知っていただく場として、「光アート事業成果報告会」を開催する運びとなりました。

つきましては、次のとおり開催いたしますので、開催告知および取材等ご配慮くださいますようよろしくお願いいたします。

記

- 開催日時：令和4年10月14日（金）15:00～17:00
- 開催場所：アスティとくしま1階第4会議室
- 定員：50名（先着順）
- 参加費：無料
- 申込方法：下記URLの申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/6gLdGNskEpcq2k3C7>

※ 新型コロナウイルス感染症対策として、①受講中のマスク着用、②セミナー室入室時の手指消毒、③非接触体温計による検温、を実施します。当日体調不良の方は受講をご遠慮ください。

<本件に関する問合せ先>

四国大学 徳島光・アート教育人材育成事業実施本部（T-LAP）

担当：田尾、立石

TEL: (088)665-9953（平日 9～17時）

光アート事業 成果報告会

Tokushima Light Art Project (T-LAP)

皆さん、こんにちは。四国大学学長の松重和美です。四国大学では、「徳島光・アート教育人材育成事業」を実施しています。この事業では、本県の地域資源LEDを使った光アートビジネスの可能性を考える講座や光アートの要素技術を実践的に身につけてもらうための講座(事業①)を本学教員が講師となって県内の学生・企業などに向けて実施しています。また、広く県民の皆様が光アートを体感できるような取組(事業②)も教員が中心となって進めています。今回は、そうした取組を広く知っていただく場として成果報告会を開催することとしました。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(学長・四国大学徳島光アート教育人材育成事業実施本部長)



開催
日時

2022年 **10/14** [金] 15:00~17:00

開催
場所

アスティとくしま 1階第4会議室

参加費無料

四国大学 T-LAP

検索

定員
50名

登壇者

菊地信果夫

徳島県 大学・産業創生統括監

松重和美

学長・四国大学徳島光アート教育人材育成事業実施本部長

大野宏之

経営情報学部経営情報学科教授 事業①責任者

奥村英樹

生活科学部児童学科教授 事業②責任者

モデレーター

田尾 幹司

四国大学
徳島光アート教育
人材育成事業実施本部
副本部長

成果報告会当日は感染症対策の徹底にご協力をお願いします。

お問い合わせ先

四国大学社会連携推進課内T-LAP(徳島光・アート教育人材育成事業実施本部)

電話:088-665-9953 担当:田尾、立石

主催

四国大学(徳島光・アート教育人材育成事業実施本部)

●この事業は、徳島県地方大学・地域産業創生事業補助金で実施しています。

2022年度 四国大学 光アートスクール講座計画

講座名	プログラミング入門講座
担当教員	立石朝春 (四国大学 徳島光・アート教育人材育成事業実施本部)
開催日時	2022年10/23 [日] 14:00~17:00
開催場所	オンライン (ZOOM)
定員	20名

| 講座詳細 | 「AI技術の活用講座」に先立ち、講座で使用するプログラミング言語「Python」を経験していただく講座です。

- プログラミングとは?プログラミング言語とは? ●プログラムが実行される仕組み
- プログラムの作成・実行方法 ●CUIの使い方
- Pythonでの四則演算 ●繰り返し処理、分岐処理
- 関数の使い方、作り方 ●ライブラリの使い方、インストール方法

講座名	AI技術の活用
担当教員	長沼次郎 (四国大学経営情報学部メディア情報学科教授) 細川康輝 (四国大学経営情報学部メディア情報学科准教授)
開催日時	2022年10/29 [土]、10/30 [日] 各日9:00~16:10
開催場所	四国大学古川キャンパスU209
定員	20名

| 講座詳細 | 画像分類をするAIプログラムを実際に体験し、そのプログラミング、応用に必要な基本的な知識や技術の習得を目指します。

- 第1回 プログラム実行環境について (90分)
機械学習ライブラリTensorFlowとプログラム言語Pythonについて紹介し、CUIでのファイル操作、テキストエディタの利用、プログラムの実行を体験する。
- 第2回 Pythonプログラミング (90分)
TensorFlowを利用するために必要なPythonの知識について学ぶ。
- 第3回 TensorFlowを活用した画像分類プログラム (90分)
TensorFlowのチュートリアルで画像分類でのTensorFlowのプログラミングを学ぶ。
- 第4回 画像分類プログラムの画像データについて (90分)
画像分類プログラムに用いられている画像ファイルの扱いについて学ぶ。
- 第5回 独自画像の分類プログラム (90分)
独自に用意した画像を分類するための方法を学ぶ。
- 第6回 画像処理プログラム (90分)
OpenCVによるカメラ画像の取得と分類プログラムに必要な加工について学ぶ。
- 第7回 GUIプログラム (90分)
カメラ画像の表示、結果の閲覧などを表示するアプリケーションの作成の基礎を学ぶ。
- 第8回 画像分類プログラムの可能性をまとめよう (90分)
様々な分類課題に対して本講座で学んだ知識技術を応用する方法をまとめる。

講座名	光アートビジネス論
担当教員	大野宏之 (四国大学経営情報学部経営情報学科教授)
開催日時	2022年11/1日 [火]、11/8 [火]、11/15 [火]、11/22 [火]、11/29 [火] 各日18:30~20:30
開催場所	四国大学交流プラザ
定員	15名

| 講座詳細 | 「デザインによる創造力開発」をさらに深化させ、デザイン思考をビジネスの現場で展開できることを目指します。

- 第1回 今という時代とデザイン (●VUCA ●STEAMって? ●なぜデザイン?)
- 第2回 デザインの類型・アナリシス (●論理と思考の関係 ●論理、ロジックツリー)
- 第3回 デザイン～シンセシス・プロトタイピング (●構造化、類推 ●プロトタイピングの意味)
- 第4回 プロトタイピング (プロトタイピングとは)
- 第5回 プロトタイピング演習・プレゼン (アイデアの具現化に向けたプロトタイプ制作)